

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

① 第三者評価機関名

株式会社プレパレーション

② 施設・事業所情報

名称：みどりのみつぼし保育園		種別：保育所
代表者氏名：玉虫 晶子		定員（利用人数）：115名
所在地：つくば市谷田部 1120 番地（陣場 F22-6）		
TEL：029-896-6754		ホームページ： https://www.sansei-gakuen.com/midori/
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 令和6年4月1日		
経営法人・設置法人（法人名等）：学校法人 三星学園		
職員数	常勤職員：17名	非常勤職員：15名
専門職員	保育士 23名	保育補助 3名
	看護師 2名	調理員 3名
	栄養士 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室1、ほふく室1、保育室4、調乳室1、医務室1、調理室1、沐浴室1、一時保育室1、子育て支援室1、事務室1、児童用トイレ3、職員用休憩室1	各保育室空調設備有・電子錠・0-2歳児保育室床暖房・防犯カメラ・セキュリティシステム 駐車場 27台

② 理念・基本方針

【基本理念】

三星学園では、一人ひとりの発達に寄り添い、人にとっての軸が作られる乳幼児期を大切に「心のねっこ」を育みます。

「心のねっこ」が育まれた子どもたちは、樹が枝葉を広げるように「知・徳・体」の学びを深め「生きる力」を伸ばしていきます。

「知」：知る楽しさ、分かる喜び、できるうれしさ

「徳」：自分だけではなく、他の人や物も幸せにする心

「体」：心身の健康を保つ正しい習慣

【保育方針】

「自分らしく輝ける場所」

すべての子どもは伸びる可能性（輝き）をたくさん秘めています。その力が自然と発揮できるよう、家庭的な暖かい雰囲気の中で保育を行います。

1. 一人ひとりの子どもの思いを受け止め、自ら伸びようとする力を大切にします。
2. 「おたがいさま」を基本とし、保護者と職員が共に子どもを育てあう雰囲気を作ります。
3. 安全で楽しく、日々の登園を楽しみにしてもらえよう、保育環境の工夫を日々行っていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

本園は令和6年4月に開園した新規園で現在2年目を迎えました。特徴的な取り組みとしては子育て支援として「一時預かり保育」「親子カフェ」を行い、就学前の親子を対象に活動を行っています。また、みどりの地域は建設中の住宅が多く、県外からの移住のため、地域性がわからず園に問い合わせがあるので、情報を周知するために SNS や動画配信などの広報活動を積極的に取り入れるようにしています。

保育内容は「主体性保育」を目指しており、「主体性なにか」ということを日々試行錯誤しながら職員が保育を進めています。「与える」や「教える」だけではなく、子どもたちと一緒に考え、試行し、得たものを共有して進めていく保育を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年7月1日（契約日）～ 令和8年2月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

○地域との交流や保護者が体験できるイベントを通して子育て支援をしています

地域のマルシェへの参加では園児の作品展示を行い、積極的に地域と交流を図っています。園独自の地域子育て支援事業として、月1回程度の親子交流の場を設け、自然体験や生き物との触れ合いなど豊かな体験機会を提供しています。保育士体験では保護者が保育士の体験を行い、他の子ども達の様子や職員の様子なども知ることができます。また、定期的を開催している親子カフェでは様々な種類のプログラムを用意して園を身近に感じてもらえるように取り組んでいます。一時預かり事業の実施や随時受け付ける育児相談も行っており、未就学児の子どもや保護者に対する支援を実践しています。

○保育 ICT システムを使用した多角的な情報発信が透明性の高い環境をつくっています

0・1歳児では、保育 ICT システムによるドキュメンテーション配信を毎日行い、家庭で子どもの様子を閲覧できる環境を整えています。SNSなどの配信に加え、季節の製作物を園内に掲示しています。多角的な情報発信を通じて、園の情報を見やすく・分かりやすく整理し、透明性の高い情報共有を実践しています。保護者参観や懇談会以外にも保護者と連携を図る機会を設けています。ICT システムを活用した日々の可視化と保護者が参加する行事などにより、風通しの良い保育環境を実践しています。

○柔軟性があり新しいことにチャレンジしていく組織風土が形成されています

開園からの経過年数が浅いこともあり、新しいことにチャレンジしていく柔軟性が高い組織風土があります。過去の慣例がないことを利点として捉え、職員が子ども一人ひとりの特色に合わせた対応をおこない、近隣の自然の中で生き物と触れ合うイベントなどの企画をしています。SNSによる情報発信においても、著名な動画などを参考にして、完成度の高いものを作成することで保護者が親しみやすく感じる工夫が見られます。クラスのオリジナル曲も作成し、非常に特徴的で創造性が溢れるような情報発信をしています。

◇改善を求められる点

○子ども一人ひとりの意欲を引き出す主体性保育に発展することが期待されます

本年度は様々な行事を通じて、子どもや保護者、職員同士の信頼関係を深めています。次年度以降はこれらの関係性を土台としつつ、園が取り組んでいる主体性保育を日々の活動の中でどう体現していくかを深掘りしていく時期にあります。現在、園長を中心に職員が主体性保育のあり方について検討を重ねています。今後は、園内研修の実施などにより共通認識をさらに固めて、子ども一人ひとりの意欲を引き出すものに発展していくことが期待されます。

○今後の段階を見据えて安定した運営を計画的に実践していくことが期待されます

現在は試験的な取り組みも含めて、イベントの実施方法や、子どもとの関わり方においても、可能な範囲で様々な挑戦をして組織を作り上げていく段階です。現在の取り組みについて成功した事例も失敗した事例も的確に分析・蓄積し、年数を重ねるごとに取り組み内容や組織体制の基盤を作り上げ、安定した運営を計画的に見据えて的確に実践していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

このたびの第三者評価において、本園の保育実践および運営体制について客観的なご評価と貴重なご助言をいただき、心より感謝申し上げます。

高く評価していただいた点については、日々の職員の取り組みの成果として受け止め、今後も継続・発展に努めてまいります。また、改善が望まれる点としてご指摘いただいた事項については、真摯に受け止め、具体的な改善計画を策定し、職員間で共有のうえ実行してまいります。

つくば地域は地方からの移住者が多く、保育施設等の情報が不十分だという話を保護者の方からよく耳にします。地域の方々に向けて本園の情報周知や園見学などを積極的に行うことによって信頼につなげ、安心してお子様を預けていただけるよう、子育て世帯に寄り添っていきたいと思います。

今後も、子どもの最善の利益を第一に、より質の高い保育の提供に努めてまいります。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）